

# 若葉

## 第110号

令和4年3月10日

発行：八戸市立江陽中学校

PTA広報委員会

八戸市江陽1丁目 1-33

電話：43-1434

コロナで規模が縮小されたつまらない修学旅行。第一印象はそのような感じでした。しかし行ってみると、小学校の頃からの同級生と共に授業と休み時間の間のような不思議な雰囲気の中でたくさんのお出がでできました。なかでも一番の思い出は、同じ部屋の友達とウノをして盛り上がったことです。この修学旅行をとおして、身近だけれど魅力が再発見できたものがあったり、普段学べないことまで学べたりして、とても楽しかったです。

工藤 太陽



修学旅行では、普段できないようなカヌー体験や、コケ玉作りなど、貴重な体験をし、今まで知らなかった地元青森県の魅力を感じることが出来ました。五所川原立佞武多の館では、展示室に高さ二十メートルを超える巨大な立佞武多が三基展示されており、その迫力に圧倒されました。九年間一緒に過ごしてきたクラスの仲間だからこそ笑いあって楽しめ、より一層「絆」を深めることができたと感じました。

二木 優菜



## ぺんぺん草

### ウォーキング

スクールカウンセラー 赤坂 久美子

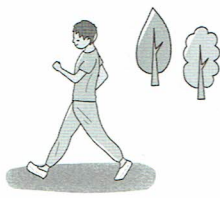
今、一時間余りのウォーキングから帰宅した。今日は一月七日、雪が舞っている。正直に言うと、ここまで続けられるとは思っていなかった。雪の日にウォーキングするとは想像もしなかった。

「持にウォーキング」というテロップが目についた。そう、歩くことだったからできる。時間とやる気さえあればすぐ始められる。思い立ったら吉日という訳で、その日からウォーキングを始めた。

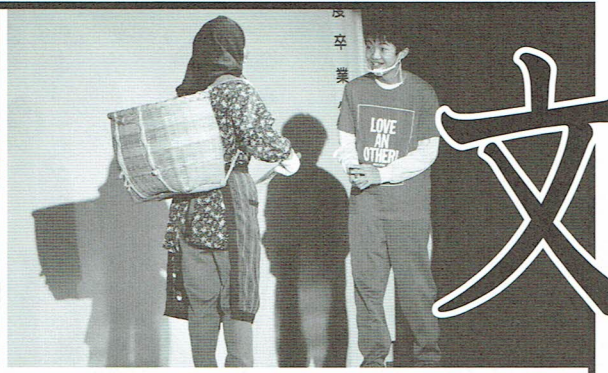
ルールを決めた。思い立った時間帯に、赴くままに歩く。気分が乗らない日や悪天候の日は無理をしない。緩いルールである。ウォーキング中、無心になっっている自分に気づく。あれこれ考えながら歩き始めても、気が付くと無心で歩いている。今まで無心と感じられる時間なんてあっただろうか。思うに、この

「無」の時間が心地よく、私に必要な時間なのだ。だから続けられるのだ。こんな雪の日でも外に出たくなるのだ。今の私にとって、ウォーキングは精神安定剤と言える。

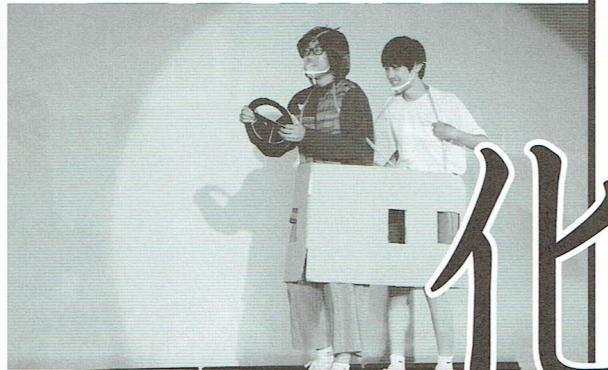
ウォーキングを始めたのは昨年四月半ば。漠然と、健康のために何かしなければと感じていたものの、運動とは無縁の生活を長らく続けてきた私にはできそうなのが何もなかった。ある日何気なく見ていたテレビで、『足腰の健康維







# 文



# 化



# 祭



令和三年十月十二日文化祭が行われました。このようなご時世の中ですが地域の方に豪華な照明の取り付けやDVD作成、先生方には練習や衣装の準備など御協力して頂きました。コロナ禍で行事がなくなることもありましたが、様々な方のお力添えを得て保護者にとっても、三学年全員にとっても思い出に残る文化祭になったかと思えます。この場をお借りし、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

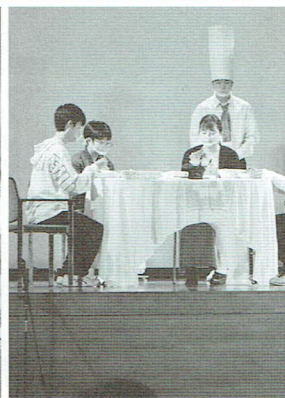
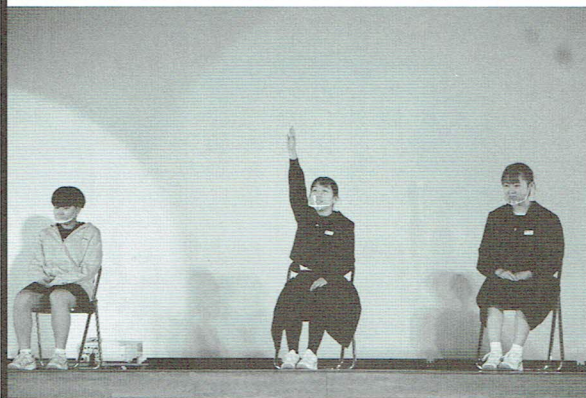
(一年P)

令和三年十月十二日、コロナウイルス感染予防をしながらの江陽中学校文化祭が開催されました。

一学年は「自主見学での出来事」、二学年は「マネー講習会クイズ」「職場訪問での出来事」、三学年は「演劇」を発表しました。

一学年は自主見学での出来事を、手作りの小道具を使い「生懸命発表」しました。事前にしっかりと準備をして、初めての文化祭を楽しみにしていたことが伝わる発表でした。二学年はユーモアを交えながらも凝っており、皆で楽しみながらイキイキと発表しているのが伝わ





りました。三学年はみんなの演  
技力が高く一生懸命練習したこと  
が伝わる演劇でした。最後の混声  
三部合唱「輝くために」は、男子  
生徒のたくましい声と、女子生徒  
のソプラノとアルトが美しいハーモ  
ニーを奏でていて、心を込めて歌っ  
ている様子が伝わりました。どの  
学年も一人一人が全力で取り組み、  
文化祭を盛り上げて成功させる  
ために、準備や練習を頑張ってきた  
ことが伝わる素晴らしい文化  
祭でした。

準備期間が短くコロナ禍で大  
変な中、生徒へのご指導、見守って  
下さった先生方やご来賓の方々、  
保護者の皆様大変ありがとうございました。  
(二年P)

十月十二日、今年も無観客の  
中文化祭が行われました。コロ  
ナウイルス感染拡大により、九  
月いっぱいには文化祭の準備や練  
習が充分に出来ないという状況  
下でいながらも、素晴らしい文化  
祭となりました。中でも吹奏  
楽部は、ステージに収まらない  
圧巻の演奏やパフォーマンスを  
見せてくれました。三年生はこ  
のステージを最後に引退となり  
ますが、今後も更なる活躍を期  
待したいと思います。

(三学年P)





### 多様性の時代

江陽中学校PTA会長

佐々木 茂雄

三学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学生活三年間は、コロナという感染症により多くの制約を受けて大変だったと思います。PTA活動もほとんど出来ない状態でしたが、こうして無事に卒業を迎える事に喜びを感じざるを得ません。

卒業にあたり、金子みすゞさんの言葉を贈らせていただきます。

「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。」

教科書にも載っていて知っている人も多いと思いますが、今、「多様性」という言葉が注目されています。この世界は人種や言語のみならず、考え方、スキル、年齢、身体的特徴も含め様々な違うものでできています。その違いを互いに認め合い尊重する事が大事だという事です。まずは自分を認めて大切にすること、そして他人も認めて大切にする事。

すべてのものに存在価値があります。

### 今年度を振り返って

一学年委員長 津馬 真弓

コロナ禍に於いて、できる限りの対策をし、無事挙行された入学式。一学期は体育祭など行事も順調に進み、中学生としての成長を楽しみにしていた矢先の流行再拡大。それに伴って部活動の中止や校外学習の延期、文化祭も無観客になるなど大きな影響を受けました。

委員会としての活動もなく、委員同士顔を合わせる機会も殆どないまま一年を終えようとしています。

残りの二年、少しずつ日常を取り戻し、子どもたちが充実した学校生活を送れるようサポートして参りたいと思いますので、来年度以降も皆様のご協力よろしくお願いいたします。

### 活動を振り返って

二学年委員長 堀 香

二学年委員は今年度グッジョブから変わった職場訪問に向けて各職場に委員が手分けして挨拶文を届ける等準備のお手伝いを行ってきました。九月、訪問時期のコロナの感染者数の増加に伴い中止、残念ながら実施できませんでした。

三月に立志式、四月からは最終学年となります。子

供たちのコロナ禍での中学校生活は続きますが、乗り越えていけるようサポートしていきたいと思っています。委員長として活動参加が出来ますが今後共ご協力、よろしく申し上げます。

### 活動を振り返って

三学年委員長 立本 亜希

中学入学時には想像もなかった、現在の生活状況。行動面に色々な規制がされ、見通しがとても立てにくい中で、今できる最大限のことを模索しながらの生活も

二年が経とうとしています。生徒の皆さん、よく辛抱して頑張ってきたと思います。また、校長先生をはじめ教職員の皆様方のおかげです。いつも以上に考えること、配慮しなければならぬことがたくさんあり、大変だったと思います。本当に感謝しております。

そんな学校生活を頑張る皆さんに、三学年委員会としては少しでも寄り添えたらと思います、体育祭の時に飲み物の差し入れ、冬休みの実力テストの昼食の弁当の手配を行いました。

感染リスクを抑えるため、委員が集まった活動ができませんでしたが、委員の皆様にはご理解いただき、感謝申し上げます。

### 活動を振り返って

校外指導・環境厚生委員会委員長 上野 登美子

今年度は春に体育祭前の草刈作業、夏休みと冬休みには地域巡回を行いました。草刈り作業は全生徒、全保護者に呼びかけた皆さんの方々に協力していただきました。

地区巡回では、小中学校の保護者の方々、地区の方々、先生方と協力し、ラピアやゲームセンターを中心に参りました。

お忙しい中、皆様にたくさん協力していただいたおかげで、気持ちよく無事に体育祭が行われ、また、長期の休みの間も子どもたちが安全に過ごすことが出来たと思っております。

一年間ありがとうございました。

### 活動を振り返って

母姉・広報委員会 委員長 菅野 優子

今年度も広報委員一同協力し合い、無事「若葉」を発行することができました。コロナ禍のため、文化祭の一般参観や母姉委員会の活動が中止となった影響から、年度内の発行回数は二回となりました。このような中でも、執筆を快く引き受け

事等にお力添えしてくださった地域の皆様には感謝申し上げます。活動を通して、寄稿していただいた文章や行事の写真を見るたび、子どもたちののはつらつとした姿、それを支えてくださった皆様の思いが一枚の「若葉」を創りあげてくれたことを実感することができました。

今後も「若葉」を通して、江陽中学校の歩みを皆様へ届けていければと思っております。一年間ありがとうございました。



### 編集後記

本号の発行で一年間の活動が終了となります。コロナ禍での学校生活は思うような活動ができず物足りなさを感じる事も多かったと思いますが、教職員の皆様、保護者の皆様、地域の方々のおかげで子供達の元気な姿をお届けできて嬉しく思います。発行するにあたり原稿作成にご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

(三年P)